

新宿区教育委員会会議録

平成29年第2回定例会

平成29年2月3日

新宿区教育委員会

平成29年第2回新宿区教育委員会定例会

日 時 平成29年2月3日(金)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 3時47分

場 所 新宿区役所6階第3委員会室

出席者

新宿区教育委員会

教育長職務代理者	菊池俊之	委員	羽原清雅
委員	菊田史子	委員	古笛恵子

欠席者

教育長	酒井敏男	委員	今野雅裕
-----	------	----	------

説明のため出席した者の職氏名

次長	山田秀之	中央図書館長	藤牧功太郎
教育調整課長	木城正雄	教育指導課長	横溝宇人
教育支援課長	高橋昌弘	学校運営課長	山本誠一
統括指導主事	大友文敬	統括指導主事	小林力
統括指導主事	篠塚幸次		

書記

教育調整課 管理係主査	高橋和孝	教育調整課 管理係	薬袋和明
----------------	------	--------------	------

議事日程

議案

日程第1 第6号議案 新宿区職員定数条例の一部を改正する条例（案）に関する意見について

日程第2 第7号議案 平成28年度新宿区一般会計補正予算（第7号）（案）に関する意見について

日程第3 第8号議案 平成29年度新宿区一般会計予算（案）に関する意見について

報告

- 1 平成29年度区立幼稚園の学級編成について（学校運営課長）
- 2 平成29年度新入学学校選択制度・小学校補欠登録者の繰上げについて（学校運営課長）
- 3 新宿区立愛日小学校落成式典について（学校運営課長）
- 4 新宿区立下落合図書館の開館について（中央図書館長）
- 5 平成28年度「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」の実施結果について（中央図書館長）
- 6 その他

◎ 開 会

○菊池教育長職務代理者 ただいまから平成29年新宿区教育委員会第2回定例会を開会します。

初めに、酒井教育長におかれましては、病気のため、本日の会議を欠席しております。したがって、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき職務代理者である私が議事進行いたします。よろしくお願いいたします。

本日の会議には、酒井委員長及び今野委員が欠席しておりますが、定足数を満たしております。

本日の会議録の署名者は、羽原委員にいたします。

◎ 第6号議案 新宿区職員定数条例の一部を改正する条例（案）に関する意見について

○菊池教育長職務代理者 それでは、議事に入ります。

「日程第1 第6号議案 新宿区職員定数条例の一部を改正する条例（案）に関する意見について」、「日程第2 第7号議案 平成28年度新宿区一般会計補正予算（第7号）（案）に関する意見について」、「日程第3 第8号議案 平成29年度新宿区一般会計予算（案）に関する意見について」を議題とします。

ここで皆様にお諮りいたします。

第7号議案及び第8号議案は、平成29年第1回区議会定例会で審議を予定している案件で、予算案として議会に提案する前である本日の教育委員会においては、公開による審議の場合、具体的かつ自由な討論、質疑ができない恐れがありますので、非公開による審議としたいと思いますが、第7号議案及び第8号議案を非公開により審議することに御異議ございませんか。

[異議なしの発言]

○菊池教育長職務代理者 御異議ございませんでしたので、第7号議案及び第8号議案は非公開により審議するものとします。

それでは、第6号議案の説明を教育調整課長からいたします。

○教育調整課長 それでは、議案概要をごらんください。第6号議案新宿区職員定数条例の一部を改正する条例（案）に関する意見についてでございます。

教育委員会の所管に属する学校の職員の定数を変更するもので、改正内容は表のとおりとなっております。改正後が136人、現行が156人でございますので、20名の減ということでございます。

増減理由については、学校用務業務の委託化でございます。

施行期日は、29年4月1日ということでございます。

学校用務職につきましては、平成15年度から退職不補充ということで新規採用をしてございません。その間、16年度からは、学校給食調理業務の民間委託化によりまして、学校給食調理職員の学校用務への転職を行い、26年度に給食調理業務の委託化が完了し、転職が完了をしてございます。

そうしたことから、平成29年度以降、職員の配置ができないといったようなこと、また、施設運営における民間活用の推進、技能系業務の委託化の取り組みといった、区の考え方を踏まえまして、29年度において10校の学校用務業務を委託化するものでございます。これに伴いまして、1校当たり2名の定数配置をしておりましたので、10校で合計20名の減とするものでございます。

業務委託の内容は、現在の学校用務業務を委託するもので、環境整備業務や施設維持、修繕業務等を行うものでございます。

業務委託の効果といたしましては、学校用務業務の質を低下することなく、これまでと同様の業務を委託をした上で、例えば運動会などの諸行事に際しては、人員をフレキシブルに増員するなど、柔軟に対応できるようにするものでございます。また、病気等による欠員等に対しても、区職員の場合ではなかなか対応が難しいのですが、民間企業ということで、柔軟な学校用務業務の運営が行えます。そして、経費の削減といったようなところがございます。

なお、用務業務委託は学校用務職を解雇して行うものではなく、職員が退職していく際に、人員が不足する部分について29年度は委託化するというものでございます。現在、40代後半の職員もいますが、そういった職員については、これまでの用務業務をそのまま続けていくというものでございます。

2月中を目途に事業者の選定を行い、3月には、業務の引き継ぎ、研修等を行った上で、4月から委託による用務業務に円滑に移行できるよう努めたいと考えてございます。参考までに、23区の中では、既に12区が用務業務委託を実施しているものでございます。

それでは、第6号議案の提案理由でございます。

新宿区職員定数条例の改正内容について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき教育委員会の意見を述べるためでございます。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○菊池教育長職務代理者 説明が終わりました。

第6号議案について、御意見、御質問をどうぞ。

○羽原委員 トータルとして予算コストの削減はどのぐらいになりますか。

○教育調整課長 予算の内容についてはすぐ言及はできないところでございます。

○羽原委員 後でいいです。

○教育調整課長 よろしいでしょうか。のちほどの予算（案）の中で御説明させていただきたいと思います。

○羽原委員 区立学校は、新宿養護学校を入れて40校ですが、全体の委託までに何年ぐらいかかるものでしょうか。

○教育調整課長 実は、この委託化につきましては、職員組合との交渉事項になってございまして、まずは29年度の委託化の合意が得られたものでございます。30年度以降は、まだ正式に決まったわけではなく、今後の職員組合との交渉となりますが、現在、40代後半の職員がおりますので、そうした職員が退職するまでは直営校が残っていくというものでございます。

○羽原委員 わかりました。

○菊池教育長職務代理者 ほかに御意見、御質問ございますか。

[発言する者なし]

○菊池教育長職務代理者 ほかに御意見、御質問がなければ討論及び質疑を終了いたします。

第6号議案を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なしの発言]

○菊池教育長職務代理者 第6号議案は、原案のとおり決定いたしました。

それでは、傍聴人の方は議場より退席をお願いいたします。

[傍聴人退席]

○菊池教育長職務代理者 以上で、本日の議事を終了いたします。

◆ 報告 1 平成29年度区立幼稚園の学級編成について

◆ 報告 2 平成29年度新入学学校選択制度・小学校補欠登録者の繰上げについて

- ◆ 報告 3 新宿区立愛日小学校落成式典について
- ◆ 報告 4 新宿区立下落合図書館の開館について
- ◆ 報告 5 平成28年度「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」の実施結果について

○菊池教育長職務代理者 次に、事務局からの報告を受けます。

報告1から報告5までについて説明を受け、質疑を行います。

事務局から説明をお願いします。

○学校運営課長 まず、報告1、平成29年度区立幼稚園の学級編成について御報告申し上げます。

お手元の資料をごらんいただけますでしょうか。

平成29年度区立幼稚園の学級編成につきましては、ここにございますように、29年1月13日の入園承認日に学級編成を行いました。

まず、3歳児でございます。

3歳児の学級数は14クラスでございます。定員は280名でございます。なお、3歳児は平成28年の学級編成から280名の定員となっております。1月13日現在の予定園児数は243名でございまして、昨年度比22名の減になってございます。定員充足率は86.7%でございます。続きまして、4歳児でございます。

4歳児につきましては、14学級、定員420名、実園児数285名で、昨年度比45名の増でございます。学級数といたしましては昨年と同様でございまして、定員充足率は67.8%でございます。

続きまして、5歳児でございます。

5歳児につきましても、学級数は14学級、定員420名、実園児数は253名でございます。学級数の増減はございせんけれども、予定園児数は昨年比12名の減でございます。充足率は60.2%でございます。

全体の園児数は、781名で、昨年に比べて11名の増でございます。また、全体の充足率につきましては、69.7%となっております。

以上が、区立幼稚園の学級編成でございます。

続きまして、報告2の平成29年度新入学学校選択制度小学校補欠登録者の繰上げについて御報告申し上げます。お手元の資料をごらんいただけますでしょうか。

まず、抽選対象校の繰上状況でございます。

この表にあるとおり、繰り上げに当たりましては、各校の状況、現時点での国立、私立学

校への入学予定者数や転出予定数等々などを想定いたしまして、入学式までの間に転入者があつたとしても、1学級35名、2学級で70名を超えない数として繰り上げの数を決めさせていただきました。今回の特徴につきましては、ここにございますように8校中5校は全員繰り上げ、3校が一部繰り上げとなつてございます。ちなみに、昨年度につきましては、抽選校11校中全く繰り上げができなかつた学校が5校ございました。

それから、2の繰上結果につきましてですけれども、ここにございますように、昨日、2月2日に全補欠登録者に郵便でその結果を通知させていただきました。なお1月31日をもって補欠登録を解除しております。

各校の状況についてございますけれども、ここに8校ございますけれども、まず特徴のあるところについて説明します。まず1校目の津久戸小学校です。津久戸小学校につきましては、学級数2、定員70名、1月31日現在の入学者予定者数が61名、抽選時では26名だつた補欠登録者数が31日の時点で18名ございました。入学予定者が61名であつたために、3名を繰り上げ、残りの15名は指定校への入学となります、なお、今回の繰り上げた3名の中に双子が1組ございましたので、3名の繰り上げとなつてございます。繰り上げ後の入学予定人数は64名といったところございます。

牛込仲之小は、学級数2、定員70名、1月31日現在の入学予定者数が60名、それから補欠登録者数は31日現在が3名、繰上者数は3名で、補欠登録者数の3名が全て繰り上がり、63名が入学予定者となりました。

余丁町小学校も、学級数2、定員70名、それから1月31日現在の入学予定者数は59名、補欠登録者数は31日現在で13名で、繰上者数が4名ございます。残りの9名の方は指定校へといったところございます。ちなみに、余丁町小学校につきましても双子ございました。

それから、四谷第六小学校につきましても、学級数2、定員70名で、1月31日現在では48名の入学予定者ございます。補欠登録者7名で、全員繰り上がりまして、入学予定者は55名となつてございます。

戸山小学校につきましても、学級数2、定員70名、1月31日現在の入学予定者数は59名、補欠登録者は1月31日現在で9名ございます。そのうち繰り上げは3名となつておりました、繰り上げ後の予定人数は62名となりました。補欠登録者6名は、各指定校へとなります。

それから、戸塚第一小学校ございます。学級数2、定員70名、1月31日現在の入学予定者数は57名、補欠登録者は1月31日現在1人ございます。繰り上げまして、入学予定者は58名となります。

落合第三小学校でございます。学級数2、定員70名で、1月31日現在の入学予定者数は60名、補欠登録者は4名で、全員繰り上げの64名となっております。

西新宿小学校は、学級数2、定員70名、1月31日現在の入学予定者数は56名、補欠登録者4名、繰上者数も4名で、入学予定者は62名となっております。

結果につきましては、2月2日に送付してございます。また、2月1日から、指定校変更の受付を順次行ってございます。

続きまして、報告3新宿区立愛日小学校落成記念式典についての御報告を申し上げます。

愛日小学校落成式典の日時は、来る3月21日火曜日、午前10時から12時まで愛日小学校の1階体育館で執り行います。式典には、都議会議員、区議会議員、教育委員、学校関係者を初め、記載のみなさまをご招待してございます。また、愛日小学校の全児童が参加する予定でございます。

落成式典では、10時から11時にかけて区長、教育長等の挨拶、工事報告、御祝辞を賜った中で、愛日小学校児童による合唱等々、参加型の式典を行いたいと考えてございます。

その後、施設見学といたしまして、各階を見ていただくようにしてございます。順路の中では、お茶、お菓子を召し上がれるような形で施設内を見学していただくように考えてございます。

以上でございます。

○中央図書館長 続きまして、報告4でございます。新宿区立下落合図書館の開館につきまして御報告をいたします。

新宿区立下落合図書館につきましては、旧中央図書館の跡地での建設工事が竣工し、開設に向けて準備を進めてございますが、この3月11日土曜日に開館いたします。

施設の概要ですけれども、名称が新宿区立下落合図書館、住所が東京都新宿区下落合一丁目9番8号でございます。

開館時間が、火曜日から土曜日が午前9時から午後9時45分、日曜日、祝休日が午前9時から午後6時まででございます。

休館日は月曜日、その他資料に記載のとおりでございます。

施設の管理につきましては、指定管理者による管理となり、株式会社図書館流通センターを指定管理者として指定してございます。指定期間は平成29年3月11日から平成31年3月31日までとしてございます。

建物は、延べ床面積が1,090.82平米、鉄筋コンクリート造で、工事公園事務所、防災倉庫

を併設してございます。

図書館のフロアーにつきましては、1階及び2階に資料に記載のコーナーを用意してございます。

資料点数も、一般図書約4万8,000点、児童書、約1万2,000点、視聴覚資料がCD、DVD合わせまして5,200点余でございます。

閲覧席も、一般席51席、児童席13席を御用意してございます。

特色でございますが、まず1点目に、オープンライブラリーということで、利用者・地域住民同士が交流できるスペースを出入り口付近に設置してございます。

それから、介護・高齢者支援コーナー、また、地場産業・地域資料コーナー、育児・家庭支援コーナーという特別コレクションを用意してございます。

また、2階でございますけれども、多目的室が2室あります。プロジェクター、音響設備を初め、区立施設としては初めて難聴者が音響機器の音声を聞き取りやすくするための設備、磁器ループシステムと言っておりますが、これを設置してございます。

そのほか、指定管理者の提案ということで、新宿を流れる神田川に生息するドジョウなどを飼育するビオトープ、それから感情認識ロボットを用意いたしまして、これによる利用案内、また座席管理システムを導入いたします。

次に、落成式典、開館記念講演会でございます。

落成式典は、開館日の前日の3月10日、金曜日の午前10時から11時に執り行います。式典は、10時から10時半で2階の児童コーナーで立席方式でございます。教育委員の皆様を初め、招待者約120名を予定してございます。10時半以降は館内見学でございます。11時30分まで要所に図書館員を配置してございます。

午後には図書館の開館記念講演会を行います。2時から3時、太田治子氏によります開館記念講演、その前後に内覧会ということで、2月5日号の「広報しんじゅく」で区民の方に対する公募をしてございます。

それ以外にも、3月11日にはオープンライブラリーでのミニコンサート、また館内ツアー、それから3月12日には落語会、それから19日には絵本作家講演、親子で楽しむ絵本ライブなど、開館記念イベントを御用意してございます。

その他でございます。旧中央図書館が移転した後、下落合図書館ができるまでの間、空白期間対応といたしまして戸塚出張所及び落合第一特別出張所に臨時ブックポストを設置してございましたが、こちらにつきましては、3月11日の午前8時半をもちまして終了とさせて

いただきます。

また、高田馬場第一児童館、中落合家庭支援センターでの出張おはなし会につきましても、これも毎週金曜日、土曜日、日曜日に行ってございましたが、3月10日をもちまして終了とさせていただきます。

また、近隣の小・中学校に団体貸し出しを拡充して行ってございましたが、これも3月31日をもちまして終了といたします。

なお、家庭配本サービスにつきましては、下落合図書館に引き継いで、サービスを継続していくものでございます。

今後の予定といたしましては、ここに記載のとおりでございます。

もう一つ、参考資料といたしまして、下落合図書館のフロア案内図を添付してございます。それから裏面に参りまして写真でございます。先ほど申し上げましたオープンライブラリーというこのオープンデッキがこのような形となっております。オープンデッキは、道路と連続してございまして、ここから図書館の中にも入れるようなしつらえになってございます。

それから、児童室では丸窓や、また、非常に楽しい雰囲気のあるカーペットなども御用意してございます。

それから、閲覧席もこのような形で、独立した区画になってございまして、座席管理システムを使用して運用していく予定でございます。

以上が御報告でございます。

引き続きまして、報告5でございます。「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」の実施結果でございます。

調べる学習コンクールにつきましては、図書館利用の促進、それから調べる学習、地域の活性化というところで、近年、教育現場で求められている自己解決能力の育成を地域図書館として支援していくという取り組みで、全国組織である公益財団法人図書館振興財団が主催しているものでございます。

まず、地域コンクールというところで、図書館ごとに私立学校も含め、参加を呼びかけまして、出張して調べる学習についての説明や、また図書館での講座を開くなど取り組んでございます。今回は、参加校が合計42校でございます。応募数でございますが、小学校、中学校、高校合わせまして3,338点、このうち地域コンクールでの表彰数が341点です。内訳は、館長賞26点、優秀賞26点、奨励賞275点でございます。

この341作品を、全国コンクールに推薦いたしまして、全国コンクールの発表が去る1月11日に行われました。今回、全国では7万7,453作品ということで、昨年度が約7万点ということですので、1割程度の増となっております。

全国から推薦された作品のうち、文部科学大臣賞など30作品が入賞してございまして、以下、ここに記載のとおりのでございます。新宿区につきましては、入賞した作品はありませんでしたが、優良賞が2作品、奨励賞が4作品、それから佳作が60作品、合計66作品が表彰されました。

以下、取り組みの経過をここに記載してございます。

過年度の実施状況として、平成21年度から実施してございますが、応募数の推移ということで、年々応募数、それから作品点数も伸びてございます。

応募作品数の推移ということで、地域コンクールと全国コンクールの21年度からの実績を記載してございます。

以上でございます。

○菊池教育長職務代理者 説明が終わりました。

報告1について、御意見、御質問のある方はどうぞ。

3歳児が少し減っているようではございますけれども、何か。

○学校運営課長 確かに3歳児の入園予定者数は減ってございます。しかしながら、1月の応募状況での補欠登録者数では、昨年対比でいきますと、今回の補欠登録者数が43名いらっしゃいまして、昨年24名ですから19名増えており、入園希望者が一部の園に偏ってしまっているという傾向が見られます。

区立幼稚園全体では定員に空きがある幼稚園もまだございますので、そうした園をご希望される方もいらっしゃるものと考えてございます。

今回の入園希望の特徴としては、例年も見られてはいますが、私立幼稚園、子ども園、保育園、この3施設への併願が多くございました。その中で子ども園を選んだ人や、保育園を選んだといったように保育施設に入園される方が相当の人数いらっしゃいましたので、御自分の生活スタイルの中でお選びになっているということが、まず1点あるのかなど。

また、余丁町幼稚園は、昨年は20名の入園予定者で抽選になるかもしれないといった状況でございました。そうした状況から、今回は抽選になるのではないかとということで、敬遠された向きがあるのではなかろうかといった状況が見られました。抽選に対して不安に思われる保護者の方がいらっしゃいますので、その辺の傾向も踏まえて、承認時点での入園予定者

数が少なくなっていますが、一方で補欠登録者数は偏ってございますので、そこら辺が分散していけば、もう少し入園する人数は増えてくるのかなと思っております。

○菊池教育長職務代理者 わかりました。

3歳児は充足率は何%ですか。

○学校運営課長 充足率は86.7%でございます。

○菊池教育長職務代理者 はいわかりました。

ほかにどなたか御質問ございますか。

[発言する者なし]

○菊池教育長職務代理者 ほかに御質問がなければ、報告1の質疑を終了します。

次に、報告2について御意見、御質問のある方はどうぞ。

○羽原委員 定数70名に対して入学者予定数を60名程度としているということは、これから4月以降に入ってくる人のための余裕を見ているということですか。

○学校運営課長 今、羽原委員おっしゃられたとおりでございます。今後、4月までの転入者が各地域ごとに多少違いがありますので、その辺の過去のデータを加味して、設定してございます。

○羽原委員 そのことを、この資料で公表するのかどうか知らないですが、定員が70名なのに60名程度ということに疑問を持つと思います。特にほかの学校への入学ということになると、だから、4月の入学時のためのゆとりを見ているという趣旨を書き添えておかないと誤解を招くかなと思います。

それから、1学級35人で行っているわけですね。

○学校運営課長 35人学級の話でございますけれども、義務教育標準法という法律がございまして、そこで国が認めているのは1年生です。今、2年生まで35人学級としてございますが、これは、東京都の教員配置の措置となっております。いずれにいたしましても、1、2年生に関しましては、1学級35人学級編成ということでございます。

○羽原委員 新宿区では、35人学級が導入されてから、もう4年目に入るとは思いますが、今の4年生が入学する時は35人学級であったと思います。学校経営上、35人であったり、40人だったりするのが大変だなと思っているのですが、35人ならコンスタントに35人に、国がやるにしても、都にしても、区がやるにしても、35人なら35人がずっと続いて今日に至っているのかということについて聞いておきたい。

○学校運営課長 3年生からは40人学級になります。

○羽原委員 35人で入って、40人になるわけですね。

○学校運営課長 はい。制度上、教員の措置が国ないし東京都が1、2年生のみとしていますので、3年生以上になりますと40人での学級編成になるという仕組みになってございます。今おっしゃられたように、そこで膨らんでいる学校もございます。

○羽原委員 行政としてはちょっとおかしいのでは。

○菊池教育長職務代理者 そうすると、進級していくと3クラスから2クラスになる可能性があるということですよ。

○学校運営課長 はい、今、職務代理者がおっしゃったとおりでございます。

○羽原委員 実例はありますか。

○学校運営課長 少し調べさせていただきます。

○羽原委員 分かりました。

○菊池教育長職務代理者 その件については後ほどお答えいただきましょう。
ほかに御質問ございますか。

[発言する者なし]

○菊池教育長職務代理者 ほかに御質問がなければ、とりあえず報告2の質疑を終了いたします。

次に、報告3について御意見、御質問のある方はどうぞ。

[発言する者なし]

○菊池教育長職務代理者 これは式典ということなのでよろしいでしょうか。

質問がなければ、報告3の質疑は終了いたします。

次に、報告4について御意見、御質問のある方はどうぞ。

いかがでしょうか。

オープンスペースがすごくきれいで、すばらしいと思いますが、そこからも入れるということであると、セキュリティーが気になりますが、入り口は1つになるのでしょうか。

○中央図書館長 通常は、全ての窓を中からきちんと鍵もかけて閉まっている状態で、館内と館外が区画されている状態となります。ただ、例えばオープンライブラリーを使ったミニコンサートであるとか、イベントのようなことをやるときに、そこを全部開放して交流をするというようなことで、有人の管理下で開放することを想定しています。そのため、基本的には、閉館したときには中に入れなくなっていますので、セキュリティーの面では工夫は必要ですけれども、支障のないような形で運営していきたいと考えてございます。

○菊池教育長職務代理人 はい。

ほかに御質問ございますか。

○羽原委員 飲食スペースと携帯スペースはないですね。

○中央図書館長 飲食スペースと、それから携帯コーナーというのはございません。

○菊池教育長職務代理人 ほかにございますか。

[発言する者なし]

○菊池教育長職務代理人 ほかに御質問がなければ、報告4の質疑を終了いたします。

次に、報告5について御意見、御質問のある方はどうぞ。

図書館のコンクールですけれども、調べる学習コンクールとても素晴らしいと思いますけれども、毎年増えてきているようですね。

何か御質問ございますでしょうか。

[発言する者なし]

○菊池教育長職務代理人 ないようですので、報告5についての質疑を終了いたします。

では、先ほどの。

○学校運営課長 先ほどは、1年生の35人学級編成から3年次の40人学級編成になったときに学級数が減った事例はあるのかというお尋ねでございました。

例えば戸塚第一小学校の平成26年度第1学年が73名で3クラスで学級編成をしております。それでそのまま第2学年も3クラスです。ところが、第3学年になりますと、人数も増えて78名となってございますが、40人での学級編成となりますので2クラスといったところがございました。

それから、もう1校、大久保小学校の平成26年度の第2学年が、37名で2クラスでございました。ところが、第3学年になりましたところで1クラス編成になったと、そういう事例がございます。

以上でございます。

○菊池教育長職務代理人 分かりました。ありがとうございました。

○羽原委員 支障は何かありましたか。

○学校運営課長 仕組みとして、35人学級が続くことが少人数学習指導ということでいいのかもしれませんが、今の法律では、どうしても40人学級になります。学校からは、学級運営上特段の支障があるということは聞いてございませんけれども、ただ、保護者からは、どうせならそのまま続けてもらえばというお声は確かにちょうだいしております。

○菊池教育長職務代理人 いかがでしょうか、御意見ございますか。

○菊田委員 保護者の目から見れば、確かに2クラスか3クラスか、あるいは1クラスか2クラスかということは友達関係など大きな問題となります。指導上はどのような感じなのでしょうか。教育指導課長にお伺いしたいです。

○教育指導課長 そのときの人数によって変わってくるとは思いますが、多くの学校で、複数学級あった場合には、2年生から3年生、あるいは、4年生から5年生になるときに学級編成がえを行っておりますので、そこで新たな友人関係を結ぶ、あるいは人間関係づくりの学びの場になるという意味では、学級編成がえは決して悪いことではないと思います。人数の多い、少ないという点については、先生にとっては人数が少ないほうが手厚く指導できるという部分はあるかと思っておりますけれども、これは、制度上のことですので、やむを得ないと考えています。

○菊池教育長職務代理人 よろしいでしょうか。

○菊田委員 はい。

◆ 報告 6 その他

○菊池教育長職務代理人 次に報告6、その他であります。事務局から報告事項がありますか。

○教育調整課長 特にございませぬ。

◎ 閉 会

○菊池教育長職務代理人 以上で報告事項を終了し、本日の教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 3時47分閉会